

道徳学習指導略案

仲よし学級 合計 9名

指導者 小林 由果

宮地 幸湖

1. 主題名 ほんとうはできる (A 個性の伸長)
2. 教材名 きいてるかい オルタ
3. ねらい 前向きな生活をしようとする自分を変えた「ぼく」の姿から、物事に積極的に取り組み、自分のよさを伸ばそうとする心情を育てる。
4. 本時の展開

	学習活動(○主な発問◎主発問・予想される児童の反応)	●指導上の留意点 ◇評価
導入	<p>1. 自分の得意・不得意を思い浮かべる</p> <p>○自分が得意だな(上手くできるな)と思うことと、自分が苦手だな(上手くできないな)と思うことはどんなことですか。</p> <p>・ 駅に詳しい。 ・ 算数が苦手。漢字が得意。</p> <p>・ 字がきれい。</p>	<p>●みんな得意なことや苦手なことがあることを意識できるようにする。</p> <p>●自分と友達では、得意なことや苦手なことが違うことを意識できるようにする。</p>
展開前段	<p>2. 教材「きいてるかい オルタ」のお話を聞いて考える。</p> <p>○「新しいぼくになれるかな。」といったとき、ぼくは「どんなぼくになりたいな」と思ったのでしょうか。</p> <p>・ ドッジボールであてられないぼく。</p> <p>・ てつぼうができるぼく。 ・ 足が速いぼく。</p> <p>○ボールをとったとき、ぼくはどんな気持ちだったでしょう。</p> <p>・ うそみたい。</p> <p>・ やったー!</p> <p>・ うれしいな。またとれるかも。</p> <p>◎「きいてるかい?オルタ!」と心の中で叫んだとき、ぼくはどんな気持ちだったでしょう。</p> <p>・ 聞いて欲しい。</p> <p>・ 変わったよ!すごいでしょ。</p> <p>・ カッコいいだろ。</p>	<p>●物語の内容を分かりやすくするために、教材を児童の実態に合わせた内容に変える。</p> <p>●場面絵を使って、話の内容を視覚的に理解しやすくする。</p> <p>●言いたいことを自分の言葉で表すのに支援を要する児童には、言葉カードを用意する。</p> <p>●自分の考えをまとめて発言することに支援を要する児童には、ホワイトボードで児童の発言を整理し、発表の際に用いる。</p> <p>●学習内容と異なる発言については本時のねらいを伝え、個別に支援する。</p> <p>◇今後に期待をもつ、ぼくの気持ちを考えることができる。 【発言】</p>
展開後段	<p>3. 本時の学習を振り返り、ワークシートを書く。</p> <p>○自分の変えたいところを書きましょう。</p> <p>○変わるために、どんなことをしますか。</p> <p>・ ゆっくりなところを、はやくしたい。</p> <p>・ 好き嫌いしているところを、好き嫌いしないで食べられるようになりたい。</p> <p>・ 速く走れているところを、もっと速く走れるようになりたい。</p>	<p>●自分のよさが思いつかない児童には、教師や支援員がよいところを伝えて、今後どうしていきたいかを一緒に考える。</p> <p>●自分の考えをまとめて文章にすることに支援を要する児童には、ホワイトボードで児童の考えを整理し、書く際に見て写せるように支援する。</p> <p>◇物事に積極的に取り組み、自分のよさを伸ばそうとしたり、苦手なことを克服したいという気持ちをもったりしている。</p> <p>【ワークシート・発言】</p>
終末	<p>4. 教師の説話を聞く。</p>	<p>●教師の説話で、レベルアップを目指したり、苦手なことにチャレンジし続けたりする大切さを伝える。</p>